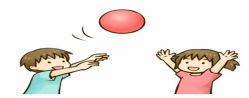


油断せずに

一斉臨時休業期間は、子どもたちが安全に過ごすことができるようにご配慮いただきありがとうございました。昨日は久しぶりの登校で、友達と会える喜びもあり、みんな表情が生き生きしていました。

さて、来週から学校も再開することができ、ほっとしているところですが、今後も油断することなく、「マスク、手洗い、換気」に気をつけて進めていきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。



ありがとう

しょうじだけし

ありがとう
 ありがとう

いえば とっても
 いい きもち

いわれりゃ もっと
 いい きもち

ありがとう
 ありがとう



感謝・敬意

私事になりますが、高齢の父母の入院に関わり、何度か病院で付き添いをするがありました。その際、病院関係の皆様が患者さんや家族の要望に対して、笑顔で、丁寧に、そして心を込めて、対応される姿に本当に頭の下がる思いでした。

しかし、最近コロナウイルスを理由として医療関係、清掃業等の方々に差別や偏見が行われていることが報道されています。また、感染した人やその家族の方への心ない言葉も問題になっています。

今、私たちは、見えないウイルスと戦っています。これまで経験したことがないという状況は、みんな同じです。

また、いつ自分自身が感染するかという不安もあります。そんな中ですから、子どもたちは今まで以上に大人の言葉や行動に敏感です。

ネットなどの不確かな情報に振り回されず、みんなで力を合わせて乗り越えていきましょう。

ご家庭でも御協力をよろしく願います。



「恐怖に振り回されずに、正しく知り、正しく恐れて、今日、わたしたちにできることを、それぞれの場所で」

下のスライドは、日本赤十字社の『新型コロナ ウイルスの3つの顔を知ろう!』の21枚の中の一部です。また、『ウイルスの次にやってくるもの(アニメーション)』もホームページで紹介されていますので、どうぞ御覧ください。

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

ワタシには3つの顔があるふっふっふ...

実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。知らず知らずのうちに私たちが影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？

2

3つの“感染症”はつながっている

ひとりひとりが気を付けないとワタシはこうやって力をつけていくよ...

第1の“感染症”「病気」

第2の“感染症”「不安」

第3の“感染症”「差別」

3

ウイルスがもたらす第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

4

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）への不安

特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする

嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる

敵がウイルス

敵がすり替わってしまう

本当の敵を見なくなる

5

3つの“感染症”は どうつながっているの？

負のスパイラルで“感染症”が広がる

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることであります。

6

第3の“感染症”をふせぐために

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

「確かな情報」を拡めましょう。

・差別的な言動に同調しないよう心しましょう。

7